

## パブリック・コメントにより「第2期まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略(案)」に寄せられた意見及び意見に対する県の考え方

※いただいた意見はなるべく原文のまま掲載しています。(ただし個人が特定されるような情報を含む場合は、同趣旨の表現に置き換えています。)

※いただいた1つの意見の中で、複数の内容に触れている場合は、必要に応じて分割の上、それに対する考え方を示しています。

No	意見	意見に対する県の考え方	提出意見の反映状況
1	<p>ポイントはPDCAをいかにタイミング良くこまめに回していくかだと思います。その為にも、ビジネスや非営利活動の実務経験がある有識者を入れて議論し、C(チェック)とA(アクション)を明確にしていく事も一案ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見のとおり、施策の効果検証と、その結果を効果的な取組の立案につなげていくことは重要であると考えています。第2期総合戦略案では、取組の検証・改善を図るため、青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦と一体的にPDCAサイクルを運用することとしており、外部有識者で構成する「青森県総合計画審議会」による検証(C:チェック)を実施しています。また、審議会からの提言等を踏まえ、次年度の取組(A:アクション)の企画・立案につなげているところです。</p>	記述済み
2	<p>KPI(重要業績評価指標)に関して、件数ではなく可能な限り金額で提示した方が県民の方々にも理解してもらいやすいのではないのでしょうか。と言いますのは、件数が増えても青森の県内総生産が増えるとは限らないからです。 例えば、「アグリ分野の持続的成長」のKPIの場合、りんごの輸出量4万トンとなっていますが、これを〇〇〇億円とします。ただ、この場合は、為替の変動もあり、金額表示は難しいかもしれません。 また、「世界から選ばれる「あおもりツーリズム」の推進」のKPIの場合、延べ宿泊者数500万人となっていますが、これを〇〇〇億円とします。</p>	<p>第2期総合戦略案に掲げている基本目標及びKPIの各指標のうち、その成果を金額で示すことができるものについては、金額で目標値を設定するなど、その達成状況が分かりやすいように工夫しているところです。 ご意見のあった、りんごの輸出量については、為替レートの変動の影響を除くため、数量ベースとしているところです。また、政策分野1「～経済を回す～魅力あるしごとづくり」では、基本目標に観光消費額を設定しています。</p>	記述済み
3	<p>最悪のシナリオ(例えば、人口最低、少子高齢化、経済成長マイナス等について)も想定し、これに対する具体策を示しておけば、県民に安心を与え将来への覚悟、自覚をして貰えるのではないのでしょうか。</p>	<p>第2期総合戦略案と同時に策定することとしている長期人口ビジョンでは、国立社会保障・人口問題研究所による将来推計人口のほか、本県が目指すべき将来の方向に沿って対策を進め、一定の仮定を満たした場合の人口見通しなどを示し、持続可能な青森県づくりに向けて、県民と本県人口の将来展望を共有していくこととしており、第2期総合戦略はこれらの内容を踏まえて策定することとしています。</p>	その他
4	<p>りんご等の食品輸出の場合、贈答用等の高級品化を狙う以外に、新商品の開拓や情報入手のための青森物産オフィスの設置(あるいは代理委託)をしてはどうでしょうか。</p>	<p>県では、県産食品などの輸出拡大に向けて、台湾、中国、韓国、ベトナムに、現地コーディネーターを配置するなど拠点を設け、県内企業等と現地企業等との商談マッチングや現地情報収集などを行っています。</p>	実施段階検討
5	<p>青森ファンを更に増やすための一案として、芸術・文化交流を今以上に進めてはいかがでしょうか。例えば、 ・art&amp;cultureを好む県内外人を対象に、ツーリズムの一環として美術館めぐりやAIの活用によるバーチャル美術館探索などを進める。</p>	<p>第2期総合戦略案では、政策分野1「～経済を回す～魅力あるしごとづくり」の政策(2)「世界から選ばれる「あおもりツーリズム」の推進」において、「国内誘客の強化・推進」を主な個別施策として位置付け、旅行形態の変化や、エリア・年代別の特性を踏まえた誘客を推進することとしており、令和2年度からの取組として、県内5つの美術館が連携して情報発信を行い、アート愛好者などを対象に国内外からの誘客を図ることとしています。</p>	実施段階検討

6	<p>インバウンドだけではなく内需主導型観光を増やす事も視野に入れてはいかがでしょうか。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間的にも資金的にも比較的余裕のあるシニアが好みそうな地域へのリノベーション</li> <li>・バリアフリー化の推進</li> <li>・公的交通料金の見直し</li> </ul> <p>など。</p>	<p>第2期総合戦略案では、政策分野1「～経済を回す～魅力あるしごとづくり」の政策(2)「世界から選ばれる「あおもりツーリズム」の推進」において、「国内誘客の強化・推進」を主な個別施策として位置付け、旅行形態の変化や、エリア・年代別の特性を踏まえた誘客のほか、県民の域内観光を推進することとしています。</p>	実施段階検討
7	<p>これからのロングライフ社会で充実して生きていくためにも、県や社会のために「何かやりたいが、何をしてもよいか分からない」退職者を募り、ボランティア支援してもらおう事により、生きがいや働きがいを持ってもらう。</p>	<p>第2期総合戦略案では、政策分野3「若者の県内定着・還流と持続可能な地域づくり」の政策(3)「あおもりの今をつくる人財の育成」において、生涯を通じた学びと社会参加活動の拡大に取り組むこととしており、令和2年度からの取組として、仕事の知識と経験を活かしたボランティアである「プロボノ」の人財発掘に向けて、普及啓発のためのセミナーなどを実施することとしています。</p>	実施段階検討
8	<p>県が住民に提案するだけでなく、それに対して住民は青森県のために何をやるのか、したいのか、住民の自律心を育てることも必要だと思えます。</p>	<p>総合戦略の推進に当たり、着実に成果を上げていくためには、県民一人ひとりを始め、企業、団体、市町村など、地域を支えるあらゆる主体と人口減少に関する認識を共有し、相互に連携・協力しながら進めていくことが重要と考えています。</p> <p>そのため、あらゆる主体と本県人口の現状や将来展望、人口減少の克服に向けた取組の成果と課題などを共有し、県民一丸となって取り組んでいくため、様々な機会や媒体を活用して情報発信を行うとともに、様々な取組における連携の促進を図ります。また、人財・技術・資金など、様々な面において民間の活力やアイデアも積極的に活用していくこととしています。</p>	実施段階検討

- ・「文章修正等」:本文の修正、既述の追加等意見を反映させるもの。
- ・「記述済み」:既に記述済みのもの。
- ・「実施段階検討」:計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。
- ・「反映困難」:反映が困難なもの。
- ・「その他」:質問や感想。第2期まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略(案)以外への意見。